

たまき塾通信 2016 4月号

至るところで桜が美しく咲き誇っています。一年間、風や大雨や冬の寒さにも堪えて咲く桜、毎年感動してその美しさに見とれます。その美しい桜の中、この入学・進級された皆さんおめでとうございます。今年も明るくいきいきと毎日を學び大切な自身の時間を蒸しめ、有意義に過ごして下さい。そして一緒にたくさん学びたくさん笑う一年にしていきたい。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

たまき塾に在籍している3年間、4年間で皆さん本当に成長されます。身長もぐんと伸び、挨拶や礼儀マナーがきちんと身につく。とても素敵なお兄さん、お姉さんに育ちます。何年前か一緒に撮った写真と見比べると、一目瞭然。今年の飛躍も楽しみにしています。

さて先日、「初耳学」という番組に予備校講師の林修先生と箱根駅伝で二連覇に導いた原監督が出演されていて、それぞれ日本一の教育者としていくつかの質問をされています。その中で私が一番心に残った回答「やる気のない生徒にやる気を出させるためには？」というものでした。お二人とも素晴らしい回答で、皆さんにもぜひお伝えしたいと思います。ぜひ心に留めておいて頂きたいと思います。

また、原監督は「やる気は成功体験を積み重ねさせる」ということをおっしゃいました。他の子と比べるとよく、以前の自分から少しも良くなっていくから集める、そしてそれを増やすように導く。一同納得の様子です。林修先生は対照的な回答でした。

「やる気のないならやめなさい」と言いますね。一瞬シーンとして後スタジオ一同騒然。「え、それでやる気が出ますか。」との反論続出。林先生はこうおっしゃいました。「僕はあまり人に影響を受けない方向です。大学時代の教授の一言だけは強烈に残っています。『嫌ならやめなさい、勉強は賛成で人から。』その後、一世代中には学びたいのに学べない状況の人がたくさんいる。

君たちは学校に行かせてもらい、親にお金を出してもらって勉強出身ている。それに感謝も出来ないような人は何を学んでも無駄です。だからやめなさい——とおっしゃっています。

たまき塾でもやる気のないならやめなさいと言いますね。出来ればよりやる気のないの一番駄目。東大の教授の一言は、私にも響きました。皆さんと学べる賛成の時間を楽しみにしています。

玉森みき拜